

大山修教育長が退任



任期満了により、大山教育長が9月30日付で退任されました。大山氏は、平成12年に徳之島町立井之川中学校校長で定年退職された後、平成15年10月に本町教育委員に任命されました。平成17年10月には、教育長に任命され、本町教育行政の基本目標である「互いにかがやき ひびきあい たくましく生きる人間づくり」に向けて、さまざまな施策を展開し、心豊かで、健康でたくましく、生涯を通して学び続ける人間づくりに尽力されました。9月30日に役場庁舎前で行われた退任式では、多くの職員に見送られ役場を後にされました。また、同じく任期満了により、春日哲裕教育委員長も9月30日付で退任されました。

教育長に豊島実文氏を任命



豊島実文教育長



富田克彦教育委員

平安正盛町長は、10月1日付で、任期満了により退任した2名の教育委員の後任に、豊島実文氏と富田克彦氏を任命しました。これに伴い教育委員会は、10月1日に臨時会を開催し、豊島氏を教育長に任命しました。豊島氏は住吉字出身で、昭和44年より与論中学校教諭を皮切りに、県内10校で教鞭を執り、平成19年3月に城ヶ丘中学校校長で定年退職を迎えました。退職後は、民生委員・児童委員協議会の会長を務め、本町の社会福祉の増進に尽力されています。なお、教育委員長には、宮山一夫氏が就任しました。

10月21日、議会委員会室において、(株)南日本新聞社と知名町教育委員会による、「児童・生徒の言語活動充実と新聞活用に関する協定書」の調印式が行われました。南日本新聞社が推進するNIE (Newspaper In Education) 活動は、学校の教材として新聞記事を活用することで、子どもたちに学ぶ力をつけさせることを目的としており、この協定書を締結することで、授業や教育活動において、南日本新聞記事の2次使用が特段の許可なく使用できるほか、記者等が出前講座の講師として派遣されるなど、多くの利点があります。調印式で南日本新聞社の佐潟常務取締役は、「子どもたちや先生方が、使いやすい新聞づくりに努めていきます。」と、あいさつを述べました。

教育に新聞を活用!



調印式の後には、7月に日本新聞社からNIE実践指定校に認定された下平川小学校において、「出前講座」が開催されました。出前講座に先立ち、南日本新聞社の職員が、「新聞とインターネットの違い」「新聞の読み方」「新聞の意義」などについてわかりやすく説明しました。このあと行われた出前講座で奄美総局の記者が、自身が実際に取材してきたさまざまな体験をもとに、新聞記者の仕事について話をしました。児童は、時折新聞を手に取りながら記者の話に熱心に耳を傾けていました。

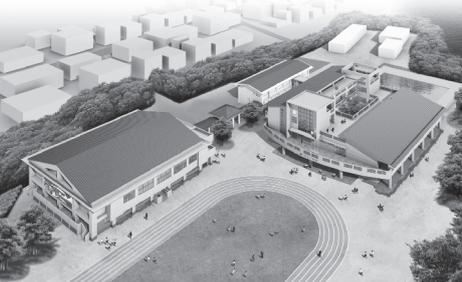


知名小学校屋内運動場 改築工事建設事業起工式



10月19日(水)知名小学校において、同校旧校舍跡地に屋内運動場が建設されることに伴い、平安町長をはじめ、学校職員や工事にかかわる業者のほか、関係者が出席のもと、工事の安全無事を祈願した起工式が行われました。屋内運動場は、鉄筋コンクリート造りの平屋建てで建物の形状は東西に長く、玄関は東側からとなっていて、渡り廊下で接続して校舎へとつながっています。また渡り廊下は、シンボルタワーを兼ねており、児童は正門からその下を通学することになります。

屋内運動場には、更衣室・トイレ・多目的トイレなどがあり、アリーナは6人制バレーボールコート及びミニバスケットボールコートが2面とれる広さとなっています。完成は来年7月を予定しており、あわせてグラウンド整備や夜間照明も整備されます。



来年7月に完成予定